

国土数值情報（大規模盛土造成地）

製品仕様書

第 1.0 版

令和 6 年 3 月

国土交通省 政策統括官付 情報活用推進課

版	更新日	改訂内容
第1.0版	2024年3月	初版

目次

1.	概覧	1
1.1	製品仕様書の作成情報	1
1.2	目的	1
1.3	空間範囲	1
1.4	時間範囲	1
1.5	引用規格	1
1.6	用語と定義	1
1.7	略語	2
1.8	参考資料	2
2.	適用範囲	3
2.1	適用範囲識別	3
2.2	階層レベル	3
3.	データ製品識別	4
4.	データ内容および構造	4
4.1	応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書	4
4.1.1	国土数値情報地物パッケージ	4
4.1.2	政策区域-災害・防災パッケージ	5
4.1.3	大規模盛土造成地パッケージ	6
4.1.4	共通パッケージ	10
5.	参照系	11
5.1	座標参照系	11
5.2	時間参照系	11
6.	データ品質	12
6.1	品質要求及び評価手順	12
7.	データ製品配布	14
7.1	配布書式情報	14
7.2	配布媒体情報	14
8.	メタデータ	14
付属資料-1	タグ名一覧	1
付属資料-2	符号化仕様	2

1. 概覧

1.1 製品仕様書の作成情報

本製品仕様書に関する情報は、次のとおりである。

- 製品仕様書の題名：国土数値情報（大規模盛土造成地）製品仕様書 第 1.0 版
- 日付：2024 年 3 月 26 日
- 作成者：国土交通省 政策統括官付 情報活用推進課
- 言語：日本語
- 分野：政策区域
- 文書書式：PDF

1.2 目的

国土数値情報は、国土形成計画、国土利用計画などの国土形成や土地・不動産関連分野等の策定や実施の支援のために作られたものであるが、各分野で広く利用されることも想定している。

本製品仕様書に基づく地理空間データ製品は、大規模盛土造成地をデータベース化し公開することにより、身近な地域の災害リスク情報をより多くの国民に周知し、防災意識の向上につなげることを目的としている。

1.3 空間範囲

地理空間データ製品の空間範囲は、日本全国を含む範囲とする。

1.4 時間範囲

地理空間データ製品の時間範囲は、2022 年度末時点とする。

1.5 引用規格

本製品仕様書は、次の規定に準拠する。

- 地理情報標準プロファイル（JPGIS）2014（令和元年 7 月）

1.6 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義については、次に従う。

- 地理情報標準プロファイル(JPGIS) 2014 「附属書 5（規定）定義」
- GIS ホームページ ガイダンス
- URL: <https://nlftp.mlit.go.jp/first.html>

1.7 略語

本製品仕様書で使用される略語は、次のとおりである。

- JMP Japan Metadata Profile
- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- UML Unified Modeling Language

1.8 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL: <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>

2. 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は、次のとおりとする。

2.1 適用範囲識別

国土数値情報（大規模盛土造成地）製品仕様書 第 1.0 版 適用範囲

2.2 階層レベル

データ集合

3. データ製品識別

本製品仕様書に基づく地理空間データ製品の識別は、次のとおりである。

- 地理空間データ製品の名称：国土数値情報（大規模盛土造成地）データ
- 日付：2024年3月26日
- 問合せ先：国土情報提供サイト運営事務局
<https://nlftp.mlit.go.jp/inquiry.html>
- 地理記述：日本全国

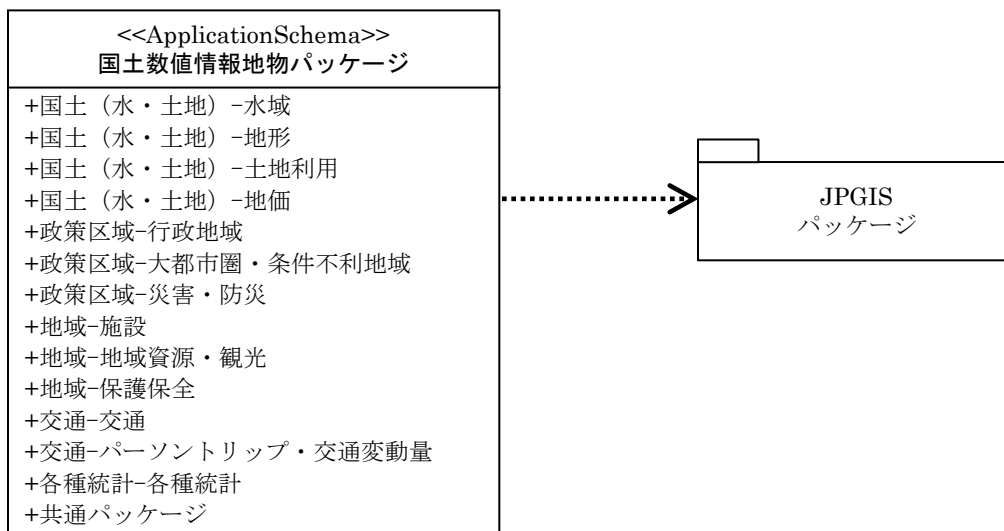
4. データ内容および構造

本製品仕様書が扱う地理空間データに関する UML クラス図および定義文書は、次のとおりである。

4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

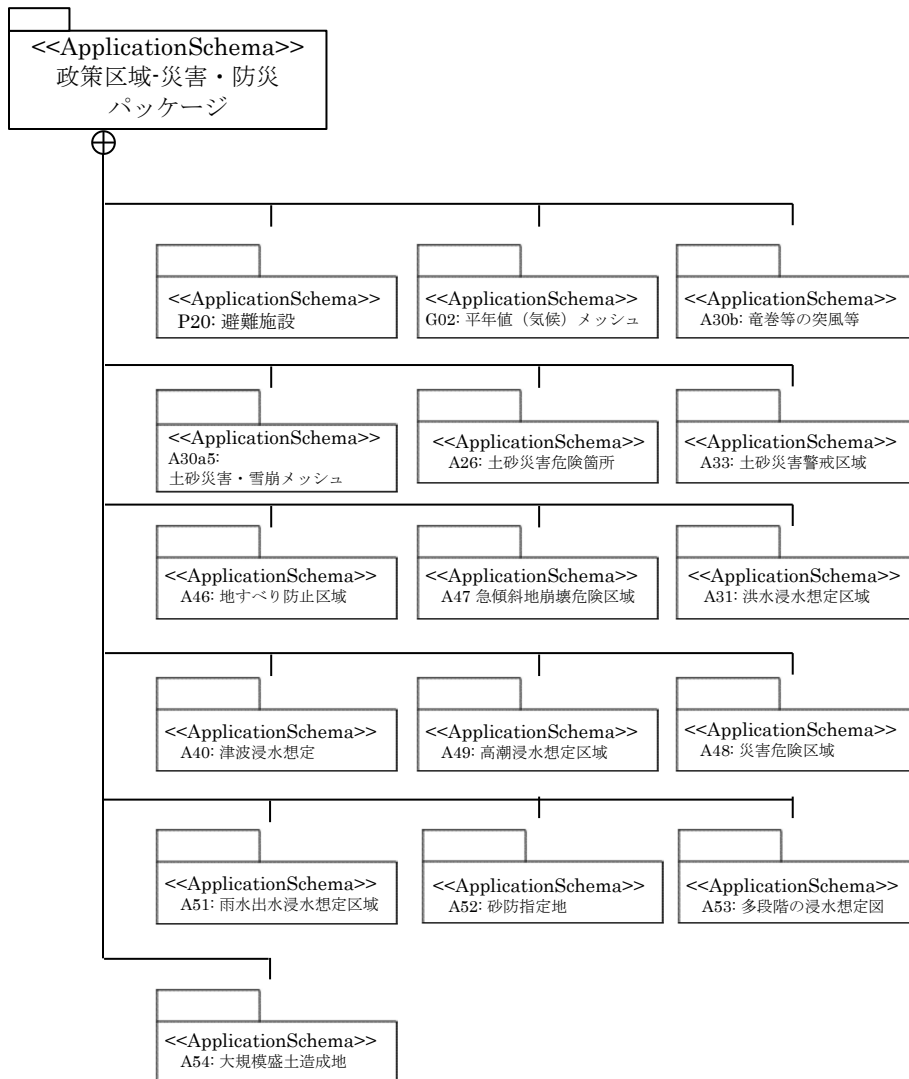
4.1.1 国土数値情報地物パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報データ集合パッケージおよび国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、産業統計や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.2 政策区域-災害・防災パッケージ

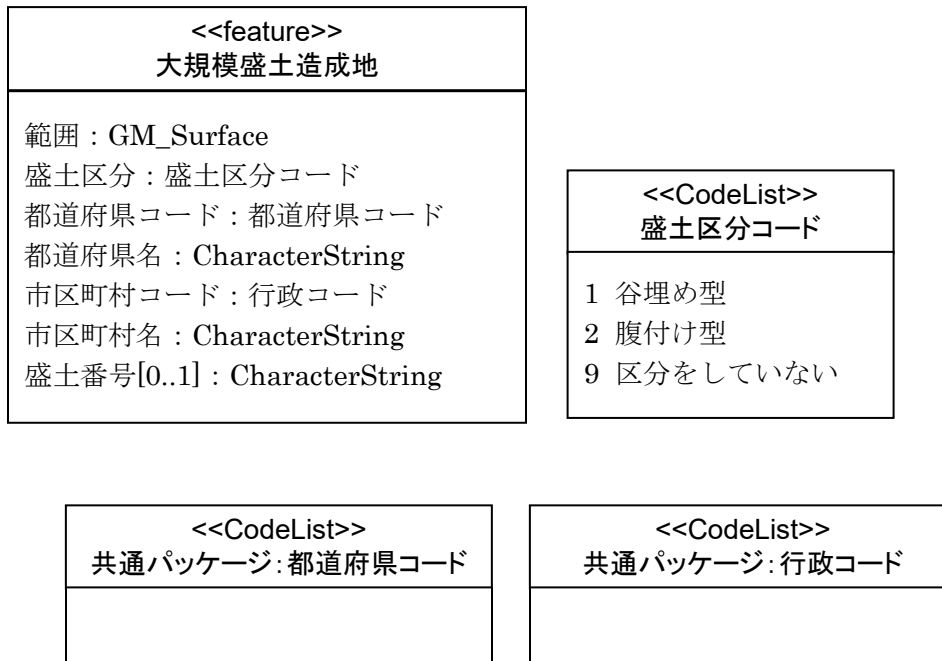
このパッケージは、政策区域-災害・防災パッケージをまとめたものである。



4.1.3 大規模盛土造成地パッケージ

このパッケージは、大規模盛土造成地に関する内容をまとめたものである。

4.1.3.1. 応用スキーマ UML クラス図



4.1.3.2. 応用スキーマ文書

国土数値情報地物

このパッケージは、国土数値情報を集めたパッケージである。

政策区域-災害・防災

このパッケージは、国土数値情報（政策区域-災害・防災）を構成する地物を集めたパッケージである。

上位クラス：国土数値情報地物

大規模盛土造成地

本データは、大規模盛土造成地をデータベース化し公開することにより、身近な地域の災害リスク情報をより多くの国民に周知し、防災意識の向上につなげることを目的としたものである。

本データ作成における原典資料は次のとおりであり、「重ねるハザードマップ」において閲覧できる。

■ 国土交通省都市局が作成した大規模盛土造成地データ

重ねるハザードマップ <https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/maps/index.html>

すべての情報から選択 > 土地の特徴・成り立ち > 大規模盛土造成地

上位クラス：政策区域-災害・防災

抽象／具象区分：具象

属性

範囲：GM_Surface

■ 定義

大規模盛土造成地の空間範囲。

■ 取得基準

原典資料に存在するデータの範囲。

ただし、キックバック、ゼロリングスライン、微小ホール等のジオメトリエラーについては修正する。修正の条件は、次のとおりである。

- 1/25,000 の縮尺で見た時に形状が大きく変化しないこと
- 修正することで 3,000 m² の基準に影響がでないこと

JPGIS 空間スキーマで定義されている面要素型である GM_Surface を用いる。

■定義域

地理範囲で示された範囲内であること。

盛土区分：盛土区分コード

■定義

盛土の区分。

■定義域

「盛土区分コード」に定義されている値。

都道府県コード：都道府県コード

■定義

「都道府県名」に対応するコード。都道府県を一意に識別するためのものである。
JIS 規格（JIS X 0401）に準拠する。

■定義域

01～47

都道府県名：CharacterString

■定義

原典資料に示されている「都道府県名」。

■定義域

令和 3 年度末時点に存在する都道府県名。

市区町村コード：行政コード

■定義

「市区町村名」に対応するコード。地方公共団体を一意に識別するためのものである。
JIS 規格（JIS X 0401）+JIS 規格（JIS X 0402）に準拠する。
なお、指定都市は区までを分類し、コード入力する。

■定義域

01001～47999

市区町村名：CharacterString

■定義

原典資料に示されている「市区町村名」。

ただし、表記が総務省の示しているものと一致していない場合は、総務省の表記を優先させる。

■定義域

令和3年度末時点に存在する市区町村名。

盛土番号[0..1] : CharacterString

■定義

原典資料に格納されている「盛土番号」。

■定義域

原典資料の「盛土番号」にある範囲内であること。

盛土区分コード

■定義

盛土の区分を示す情報

コード

コード	定義
1	谷埋め型
2	腹付け型
9	区分をしていない

4.1.4 共通パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめたものである。

都道府県コード

■定義

都道府県を一意に識別するためのコード。JIS規格(JIS X 0401)に準拠する。

コード

コード	定義
01	北海道
:	(略)
47	沖縄県

行政コード

■定義

都道府県コードと組み合わせ、市町村を一意に識別するためのコード。JIS規格(JIS X 0402)に準拠する。

コード

都道府県コード	行政コード	定義
01	100	北海道札幌市
:	:	(略)
47	382	沖縄県与那国町

5. 参照系

5.1 座標参照系

参照系識別子 : JGD2011 / (B,L)

5.2 時間参照系

参照系識別子 : GC / JST

6. データ品質

6.1 品質要求及び評価手順

データ品質要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合内に、原典資料が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとして数える。ただし、原典資料にエラー地物がある場合、そのエラー地物は評価対象外とする。
適合品質水準	過剰データの個数：0個
データ品質評価手法	プログラムにより全数検査を実施する。

データ品質要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合内に、原典資料と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れデータとして数える。ただし、原典資料にエラー地物がある場合、そのエラー地物は評価対象外とする。
適合品質水準	データの漏れの個数：0個
データ品質評価手法	プログラムにより全数検査を実施する。

データ品質要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合の書式が、整形形式となっていない箇所（XML 文書の構文として正しくない箇所）を数える。
適合品質水準	XML 文書の構文エラーの個数：0個
データ品質評価手法	検査プログラム（XML パーサなど）による全数検査を実施する。

データ品質要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	符号化仕様に定義された概念を逸脱する地物及び地物同士の関係が応用スキーマの定義と矛盾する場合、その個数をエラーとして数える。
適合品質水準	符号化仕様の XML スキーマに対する矛盾の個数：0個
データ品質評価手法	検査プログラム（XML バリデータなど）による全数検査を実施する。

データ品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物属性の値が、それぞれ規定された定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとして数える。
適合品質水準	地物属性の定義域一貫性のエラーの個数：0個
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査を実施する。

データ品質要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	データ集合の座標値が原典資料と同じ位置にないデータがあればその個数をエラーとして数える。 ただし、原典資料にエラー地物がある場合、そのエラー地物は評価対象外とする。
適合品質水準	絶対正確度のエラーの個数：0個
データ品質評価手法	プログラムにより全数検査を実施する。

データ品質要素	主題正確度・分類の正しさ
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	地物属性の区別の値が示す内容を原典資料と比較し、原典資料に記載されている非定量的主題属性の値に不整合がある場合、その個数をエラーとして数える。 ただし、原典資料にエラー地物がある場合、そのエラー地物は評価対象外とする。
適合品質水準	非定量的な主題属性のエラーの個数：0個
データ品質評価手法	プログラムにより全数検査を実施する。

データ品質要素	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	パッケージごと
データ品質評価尺度	主題属性のうち非定量的主題属性について、データ集合と原典資料との比較を行い、非定量的主題属性の値に誤りがある場合、その個数をエラーとして数える。 ただし、原典資料にエラー地物がある場合、そのエラー地物は評価対象外とする。
適合品質水準	非定量的な主題属性のエラーの個数：0個
データ品質評価手法	プログラムにより全数検査を実施する。

7. データ製品配布

7.1 配布書式情報

■ 書式名称

JPGIS 2014 附属書 12 (規定) 地理マーク付け言語 (GML)

■ 符号化仕様

『JPGIS 2014 附属書 12 (規定) 地理マーク付け言語 (GML)』を使用する。符号化で使用する文字集合は UTF-8 とする。

国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、次の URL に掲載されている XML Schema を使用する。

<http://schemas.opengis.net/gml/3.2.1/gml.xsd>

国土数値情報 (大規模盛土造成地) 応用スキーマで使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとし、XML Schema は、付属資料参照のこと。

名前空間：<http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app>

名前空間接頭辞：ksj

■ 言語

データ集合の中の言語は日本語を使用する。

7.2 配布媒体情報

■ 単位

都道府県単位

■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>

8. メタデータ

■ メタデータの形式

JMP2.0 により作成する。

■ 作成単位

メタデータは、配布単位ごとに作成する。

国土数值情報（大規模盛土造成地）製品仕様書 第 1.0 版

付属資料

付属資料－１ タグ名一覧

クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名
政策区域-災害・防災パッケージ				
大規模盛土造成地パッケージ (A54)				
大規模盛土造成地			LargeScaleFillSlope	Large-scale Fill-slope
範囲	GM_Surface		bounds	Bounds
盛土区分	盛土区分コード		fillSlopeClassification	Fill-slope Classification
都道府県コード	都道府県コード		prefectureCode	Prefecture Code
都道府県名	CharacterString		prefectureName	Prefecture Name
市区町村コード	行政コード		administrativeCode	Administrative Area Code
市区町村名	CharacterString		localGovernmentName	Local Government Name
盛土番号[0..1]	CharacterString		fillSlopeNumber	Fill-slope Number

付属資料－2 符号化仕様

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema
xmlns:ksj="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml/3.2" xmlns:sch="http://www.ascc.net/xml/schematron"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
targetNamespace="https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/jpgis/xsd/KsjAppSchema.xsd"
elementFormDefault="qualified" version="3.0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>大規模盛土造成地</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <!-- 外部参照 -->
  <xsd:import namespace="http://www.opengis.net/gml/3.2"
schemaLocation="http://schemas.opengis.net/gml/3.2.1/gml.xsd"/>
  <!-- 基底要素 -->
  <xsd:element name="Dataset">
    <xsd:complexType>
      <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
          <xsd:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
            <xsd:element ref="gml:AbstractGML"/>
            <xsd:element ref="gml:CompositeValue"/>
          </xsd:choice>
        </xsd:extension>
      </xsd:complexContent>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
  <!-- 要素定義 -->
  <xsd:element name="LargeScaleFillSlope" type="ksj:LargeScaleFillSlopeType"
substitutionGroup="gml:AbstractFeature"/>
  <xsd:complexType name="LargeScaleFillSlopeType">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>大規模盛土造成地</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:complexContent>
      <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
        <xsd:sequence minOccurs="1" maxOccurs="1">
          <xsd:element name="bounds" type="gml:SurfacePropertyType">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>範囲</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
          <xsd:element name="fillSlopeClassification" type="gml:CodeType">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>盛土区分</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
        </xsd:sequence>
      </xsd:extension>
    </xsd:complexContent>
  </xsd:complexType>

```

```

<xsd:element name="prefectureCode" type="gml:CodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>都道府県コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:appinfo>
    <gml:defaultCodeSpace>PrefectureCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
  </xsd:appinfo>
</xsd:element>
<xsd:element name="prefectureName" type="xsd:string">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>都道府県名</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="administrativeCode" type="gml:CodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>市区町村コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:appinfo>
    <gml:defaultCodeSpace>AdministrativeAreaCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
  </xsd:appinfo>
</xsd:element>
<xsd:element name="localGovernmentName" type="xsd:string">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>市区町村名</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="fillSlopeNumber" type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>盛土番号</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="LargeScaleFillSlopePropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:LargeScaleFillSlope"/>
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup"/>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="LargeScaleFillSlopeMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:LargeScaleFillSlope"/>
      </xsd:sequence>
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>

```

```

        <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
    </xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>

<!-- コードリスト定義 -->
<xsd:simpleType name="fillSlopeClassificationType">
    <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>盛土区分コード</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:union memberTypes="ksj:fillSlopeClassificationEnumType ksj:fillSlopeClassificationEnumType" />
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="fillSlopeClassificationEnumType">
    <xsd:restriction base="xsd:string">
        <xsd:enumeration value="1">
            <xsd:annotation>
                <xsd:appinfo>
                    <gml:description>谷埋め型</gml:description>
                </xsd:appinfo>
            </xsd:annotation>
        </xsd:enumeration>
        <xsd:enumeration value="2">
            <xsd:annotation>
                <xsd:appinfo>
                    <gml:description>腹付け型</gml:description>
                </xsd:appinfo>
            </xsd:annotation>
        </xsd:enumeration>
        <xsd:enumeration value="9">
            <xsd:annotation>
                <xsd:appinfo>
                    <gml:description>区分をしていない</gml:description>
                </xsd:appinfo>
            </xsd:annotation>
        </xsd:enumeration>
    </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>

</xsd:schema>

```